

2025年度の事業報告書

2025年1月1日から2025年12月31日まで

特定非営利活動法人寺子屋プロジェクト

1 事業実施の方針

- ・以下の事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位：千 円)
①子どもを中心 に幅広い 世代が集ま る学びの場 を運営する 寺子屋運営 事業	・主に小学生から高校生まで の子どもたちと、幅広い世 代の大人たちが集まる学び の場の運営や、探究学習、 プログラミング学習などの 教育プログラムを行う。	(A) 175回 (B) 京都市内の寺 社、オンライ ン (C) 15人	(D) 学びの場 の参加者 (E) のべ1800 人	1322
②子育て・教 育活動を行 おうとする 寺社や地域 団体などを 支援する寺 子屋開設支 援事業	・各地の寺社や地域団体など と連携し、より良い子育 て・教育の場を実現するた めの支援活動を行う。 ・本年度は、実施しなかつ た。	—	—	—
③子育て・教 育活動を行 おうとする 社会人に運 営のノウハ ウを伝える 社会人教育 事業	・子育て・教育活動を行おう とする人を対象にした連続 的な講座を行う。 ・本年度は、実施しなかつ た。	—	—	—
④学校や教育 委員会など と連携して 公教育の質 の向上を目 指す公教育	・各地の教育委員会などと連 携し、学校教育や土曜学習 等の質を高めるための支援 活動を行う。 ・本年度は、実施しなかつ た。	—	—	—

連携事業				
⑤書籍・電子媒体等を発行してより良い子育て・教育の普及を図る出版事業	・寺子屋運営事業や寺子屋開設支援事業で得た知見を生かし、書籍等を出版する。 ・本年度は、実施しなかった。	—	—	—
⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業		—	—	—

3 収支の状況

2025年度の経常収益は2,782,928円、経常費用は2,615,688円、当期経常増減額は167,240円、前期からの繰越分と合わせた次期繰越正味財産額は4,524,537円となった（詳細は活動計算書を参照）。2023年から2024年にかけて事業モデルの大幅な変更（塾・習い事型のモデルからコミュニティ型のモデルへ）を行い、従来の職員中心で運営する形態からボランティア組織に近い運営形態としたことから、人件費が大幅に減少し、2期連続の黒字となった。

4 今後の事業の方針

2026年はオンライン開催の学びの場のリニューアルなどを行い、「全員が学習者」というコンセプトを体現する場づくりをさらに推し進めるとともに、新規の参加者募集も積極的に行いたい。また、委託事業収入の減少が予想される中、寄付募集にも力を入れ、収支トントン以上の運営を継続したい。